

(参考) 野々市市に関する考察

	福井市		野々市市
人口	266,796 人	1/5	51,885 人
面積	536km <sup>2</sup>	1/40	14km <sup>2</sup>
人口密度	490 人/ km <sup>2</sup>	8 倍	3,700 人/ km <sup>2</sup>
世帯当たり人員	2.73 人/世帯		2.29 人/世帯
平均年齢	45.6 歳		39.7 歳
民営借家に住む人	26%		52%
学生数	福井大学 4,000 福井工業大学 2,100 仁愛女子短期大学 550		金沢工業大学 6,500 石川県立大学 600

行政コスト 小

転勤族や若い世代の居住が多い。  
転出入が激しい。

その他の状況

- 市制施行 平成 23 年に、単独で、町から市へ移行。
- 製造額出荷額 260 億円(福井市 3,600 億円) と、それほど多いわけではない。  
構成:生産用機械(39%)、食料品(29%)、電気機械器具(13%)  
従業員 4 人以上の製造業事業者は 50 社ほどしかない。  
産業用地が少なく、最近では、市外への企業流出が見られる。
- 上場企業本社 なし(福井市 10 社)  
主要事業所:津田駒工業(株)野々市工場、北陸プレス工業(株)、(株)明治北陸工場 など
- 就業者数構成 1次産業 1%、2次産業 26%、3次産業 68% と、福井市とほぼ同様。
- 大規模小売店舗 H6~H10 のあいだに 13 店舗が新たに立地し、それ以降も増え続けている(27 店舗)。  
(例) 御経塚イオン、100 万ボルト金沢本店、コストコ野々市倉庫店(8/21 オープン予定)  
小売業年間販売額 780 億円(福井市 3,000 億円) →比較的多い  
卸売業年間販売額 970 億円(福井市 7,500 億円) →比較的少ない
- 交通 国道:8 号、157 号、157 号鶴来バイパス  
鉄道:JR北陸本線、北陸鉄道石川線



狭小な自治体ながらも、古くから交通の要所であり、金沢のベッドタウンとして都市化が進行した。  
近年は、ロードサイドへの大規模小売店舗の立地が進み、利便性が高く、転勤族が多く住むまちとなっている。  
2つの4年制大学を有することもあり、若い世代の人口は多く、自然動態もプラスの状況であるが、転出入が激しく、定住人口となりにくい一面もある。

